

(別紙1)

尼崎市支え合いを育む人づくり支援事業 教育・研究活動事業実績報告書

教育・研究活動名	地域コミュニティづくり「高齢者の生きがい作り」「警察と協力し、地域の安全を守る」「子どもの居場所づくり」「地域の団体と協働して地域貢献に携わる」の4つの取り組み			
申請大学・高校等名	大学及び高校等名	兵庫県立尼崎小田高等学校		
	活動グループ名	普通科探究「あまおだ地域応援隊」	参加学生等人数	30人
指導責任者名及び連絡先	学部・学科等名称	普通科		
	責任者氏名	難波 滋	連絡先電話番号	
	E-mail			
協働する市民活動団体及び代表者名	団体名	杭瀬小学校地域学校協働本部		
	代表者氏名	大槻 真佐子	連絡先電話番号	
	E-mail			
教育・研究活動目標	① 地域の高齢者を対象に、見守り訪問、ふれあいサロン等を通じて、見える関係を築き、災害時等いざという時に支援できる体制を整える。その事により、住みよい街づくりに貢献できる。② 尼崎南警察と協働し、特殊詐欺防止等の地域安全に取り組む③ 地域の就学児を対象に見守り、読み聞かせ等を行い、町全体で子供たちを育てる体制を整える。④ 地域住民、団体と協働して、地域の活性化を行う。			
活動内容及び実績、評価	(活動内容、発表会) 活動内容：別紙報告 発表会：1月21日(小田南生涯学習プラザ) 2月1日、2月4日(本校で実施) (評価) ①学生 多くの経験をすることで、地域の方々と繋がることの大切さ、協働の大切さを理解し、生徒自身が地域に生活する住民であるという事を学べた。 また、いざという時に顔の見える関係の必要性も学べた。 ②市民活動団体の活動者 高校生と協働することにより、高齢者はじめ、地域の方々に安心ができた。 今後も地域で地元の高校生を育てていくという自覚が持てたと思われる。 ③指導教員の視点を踏まえて、次の項目について評価・分析したものを掲載してください。 この取り組みを通して、『高校』という場をより地域の方々に知って頂き、活動を通して、信頼関係を築き上げ今後も高校が地域のハブとなれるよう活動を続けていきたい。 生徒自身がこれほど地域住民との関わりを大切なものと感じているとは想定以上であった。			

※ 報告書の内容及び掲載写真は、市報、HP等の市の発行する媒体への掲載される場合がありますので、事前に学生等の同意を得た上で、提出をお願いします。

2022年度 あまおだ地域応援隊 活動報告



尼小田祭り

場所は尼崎小田高校。長洲保育園の子供達ご近所の方々に来ていただいた。
高齢者の方が子供たちに昔遊びを教えたり自分達で手作りしたゲームを運営。



飲酒運転防止運動



動機・目的：多様な人とのコミュニケーション能力を高める。

探求方法：高齢者の方や地域の方と交流をする。

結果：高齢者の気持ちに寄り添い交流を深めることができた。

考察：高齢者や地域の方々とコミュニケーションを取りやすいように運営した。

JR尼崎駅にて行った。尼崎東警察署の方地域の方とチラシ配りをし飲酒運転追放宣言をした。
沢山の方に配ることができ応援の言葉も頂いた。



募金活動

赤い羽根共同募金をJR尼崎駅にて3回行った。
合計で95288円集まった。
募金の用途は高齢者サロンの運営やボランティア活動の費用、様々な民間の地域福祉活動を支援など。



長洲団地清掃

小田高校の前の団地の清掃を高齢者の方と一緒にする。
主な活動は木や草などを刈りゴミ袋に入れて運ぶ。
清掃後には、高齢者の方々とお話をしながらお菓子や飲み物を頂いた。



スマホ教室



小田南生涯学習プラザにて行った。お年寄りの方にスマホを使う上で分からないこと知りたいことを聞いて教えて解決しスマホをよりよく使えるように教える。(LINEの送信方法、画像の送り方、調べ方) スマホの便利さを教える。



ODAハロウィンお化け屋敷

場所は旧小田地区会館
KidsRevolution（関西国際大学）のボランティアサークルの方々、尼崎ユース交流センターの方々と協力しお化け屋敷を運営。
1日に約800人の子供達に来ていただいた。



農業祭



尼崎市役所にて行った。店や品評会の運営などを手伝う。品評会は野菜を集めて集まった野菜のよし悪しを定める会のこと。輪投げでの景品はお米や尼崎芋のクッキーなど。幅広い年齢層の方が沢山来てくださった。



感想・課題

私たちはこれだけでなく沢山の活動をしている。色々な活動を通して地域の方々と交流するとコミュニケーション能力も高まり仲間や地域の方々と協力して行いやり遂げる達成感を感じている。
これからももっと色々な活動を自ら考えて行動し将来に繋げていきたい。